

国語（読解）解答例

『一』賢者の贈り物①

一 要約の解答例

質素なアパートの一室に若い夫婦が住んでいた。夫、ジムの収入が減ってしまい、夫婦は貧しかったが、妻、デラは夫を深く愛していた。明日はクリスマス。大切な夫にプレゼントを買うために、デラはこれまでコツコツとお金を貯めてきたが、全部で一ドル八十七セントしかない。プレゼントを買うには少なすぎる。悲しい思いに沈んでいたデラは、ふとあることを思いつき、涙をぬぐい鏡の前に立つた。そして自分の長い髪を下ろして眺めた。

◆【解説】

要約文は、物語の主要な要素を簡潔に、過不足なく伝えることが目標となる。

- ◇「賢者の贈り物①」の文章の要約で伝えるべき情報は、次の二点である。
 - 登場人物 … 誰、どのような人物（どこに住んでいるか）
 - 状況と課題 … 夫婦の経済状況
- 直面している問題（クリスマスのプレゼント）。
- 登場人物の様子など… 貯金が少ないとへの失望

その後の決意

◇ 要約文を書く際の3つのポイント

（1）情報を圧縮する

（例）「質素なアパートの一室に若い夫婦が住んでいた」→「質素なアパートで暮らす若夫婦、ジムとデラ」のように、主語と場所を一つにまとめる。

（2）転換点に注目する

■「全部で一ドル八十七セントしかない。プレゼントを買うには少なすぎる。悲しい思いに沈んでいたデラは、ふとあることを思いつき…」という流れは、「貯金が少ない」という問題から、「ある決断」という行動への転換点である。

（3）鍵となる情報

■「一ドル八十七セント」という具体的な数字と、「長い髪」は、物語の根幹に関わる重要な情報なので、必ず残すようにする。

八百屋	やおや	浮浪者	ふろうしゃ	機敏	きびん
物憂げ	ものう	筆舌	ひつぜつ	微笑み	ほほえ
慎ましい	つつ	無理矢理	むりやり	繁栄	はんえい
映る	うつ	把握	はあく	一掃	いつそう
縮める	ちぢ	会得	えとく	羽織る	はお
所有物	しょゆうぶつ	垂らす	た		
姿見	すがたみ				

一要約の解答例

◇「賢者の贈り物②」の文章

◆【解説】

ジエームズ・ディリンガム・ヤング家には、誇るべきものが二つあった。ひとつは祖父から父へ、父からジムへと譲り受けられた金時計である。もうひとつはデラの宝石や宝物より美しい長い髪である。デラは自分の美しい髪を二十ドルで売り、そのお金でジムへの贈り物にプラチナの時計鎖を買った。そして美しい髪を失った自分を夫がどう思うか心配しながら、短くなつた髪にヘアアイロンでカールをつけ、何とか整えようとした。

- ◇「賢者の贈り物②」の文章
- 登場人物と設定
 - 〔デラ〕：物語の主人公。夫ジムへの贈り物を買うために、自分の最も美しい財産である長い髪を売る。
 - 〔ジム〕：デラの夫。代々受け継いだ家宝の金時計を持っている。
 - 〔マダム・ソフロニー〕：デラの髪を買い取った「ヘア用品」店の女主人。デラが贈り物をしたい相手。

(例えとして登場する人物)

「シバの女王」：デラの髪の美しさを際立たせるための例えとして登場。
「ソロモン王」：ジムの時計の価値を際立たせるための例えとして登場。

○ 状況と課題　：　ジムとデラ夫婦は、それぞれ金時計と美しい長い髪という二つの最高の宝物を持つている。

デラは夫ジムへのクリスマスプレゼントを買いたいが、資金が不足している。

○ 主人公の行動：　デラは自分の長い髪を売るという大きな犠牲を払い、その対価（二十ドル）でジムの金時計にふさわしいプラチナの時計鎖を購入する。

髪を失い、短くした髪を整えたデラは、夫ジムが自分の姿を見てどう反応するか、という不安と懸念に直面する。

◇ 要約文を書く際の3つのポイント

(1) 情報を圧縮

■ シバの女王、ソロモン王の例え、や細かい描写（髪の色、服、店主の様子など）、心情の繰り返しの表現を削ぎ落とす。

(2) 転換点に注目

■ デラが髪を売る決意をする瞬間と、贈り物を発見する瞬間。この二つが物語の進行における主要な流れ（転換点）となっている。

(3) 鍵となる情報

■ 「夫婦の二つの宝物、髪を売った金額、購入した贈り物、その金額。これらの具体的な要素が、この後の展開に不可欠となってくる。

《三》賢者の贈り物③

一 要約の解答例

髪を切ったデラは祈る思いでジムの帰りを待った。帰ってきたジムが奇妙な表情で立ちすくむのを見て、デラは髪を売つてジムへのプレゼントを買ったことを話した。ジムはデラの髪型に驚いたのではなかった。長い髪に飾るために、金時計を売つて美しい櫛を買ったのだった。二人は最も素晴らしい宝物を互いのために台無しにしてしまった。しかし、彼らこそ贈り物をやりとりするすべての人の中で最高の賢者ではないだろうか。

◆【解説】

◇「賢者の贈り物③」の文章

○ 登場人物と設定

「デラ」・「ジム」

「語り手」：物語の解説者。ジムとデラの行動とその意味を価値づけている。

○ 状況と課題　： 貧しいアパートの一室。クリスマス・イブの夜。デラはジムが帰宅するのを、彼に贈るプラチナの時計鎖を手に待ち構えている。デラは、髪を売ったことがジムにどう受け止められるか、愛想を尽かされないかという極度の不安と恐怖を感じる。ジムは、デラの短くなつた髪という予想外の事態と、自分が購入した贈り物（櫛）が意味をなさない状況が露呈したことへの対処が求められる。

○ 登場人物の行動：デラは、ジムの帰宅を待ち、彼を愛しているか尋ね、髪を売つたことを告白する。そして、ジムに買つてきたプラチナの時計鎖を差し出す。ジムが差し出した包みを開け、櫛を見て泣き崩れる。

ジムは、ドアで立ち尽くし、デラの短髪に無表情な凝視する。デラを抱きしめ、包み（櫛）をテーブルに投げ出す。櫛を買うために金時計を売つたことを告白し、プレゼントをしまうことを提案する。

◇要約文を書く際の3つのポイント

(1) 情報を圧縮

■ デラの不安な心情表現、ジムの様子（服装、年齢）、聖書の賢者たち（マギ）に関する考察など、物語の展開に直接関わらない部分は大幅に削減する。

(2) 転換点に注目

■ ジムがデラの短くなつた髪に気づき、動搖する場面と、お互いの贈り物を開け、皮肉な真実が明らかになる瞬間が最大の転換点である。

(3) 鍵となる情報

■ 「デラが購入した時計鎖とジムが購入した櫛。そして、ジムの衝撃の告白と、作者による「最も賢明」という評価。

二 説明の解答例

二人とも愛する人に最高の贈り物をするために、自分が持っている最も価値のあるものを売ってしまった。その贈り物は結果的には役に立たない贈り物になってしまったが、お互いがいかに大切な存在であるかを確認することができた。最高の贈り物とは最高の真心と愛情を相手に贈ることだとということを、二人の行いは示している。

◆【解説】

◇説明を書くにあたって、本文から読み取りたいこと

若い二人が「最も賢い人たち」と評価されるのは、彼らの行動が物質的な価値を超えた、眞の愛と献身の価値を示しているからである。

賢い贈り物の本質として、「最高の自己犠牲」「眞の目的の達成」「愛の定義の具体化」が挙げられ、このことから若い二人が最も賢いと評価されている。

「最高の自己犠牲」

二人が最も大切にしている宝物（デラの美しい髪・ジムの家宝である金時計）を、愛する相手に喜びを与えるために売ってしまった。彼らは、相手のためであれば自分自身大切なものを失うことをためらわなかつた。究極の献身の証である。

「眞の目的の達成」

その結果、デラが買った時計鎖は時計がなくなり、ジムが買った櫛は髪がないため、物理的な目的は果たされなかつた。しかし、単に物を贈り合つたのではなく、「あなたのために、私は最も大切なものを犠牲にした」という最高の真心と愛情を贈り合つたといえる。まさにお互いの存在こそが何にも代えがたい宝物であることを確認し合つたのである。

「愛の定義の具体化」

「賢者（マギ）」が贈り物の習慣を作つたとされるように、本来の「賢い贈り物」とは、その品物自体の価格ではなく、贈る側の気持ちにこそ価値がある。

ジムとデラは、愛のために全てを捧げたことで、最高の贈り物とは最高の真心と愛情を相手に贈ることであるという、最も大切な真実を実践し、証明することができた。愛する人のために、この精神的な「知恵」を働かせたことが、彼らが「最も賢い人たち」とされた最大の理由といえる。